

研究会の名称

全国病院情報活用事例研究会

研究目的

近年、電子カルテや検査・会計システムに蓄積される病院情報は、診療支援や経営管理など多方面での活用が期待されている。しかし、実際の病院運営への活用には、現場の文脈やマネジメントの視点を踏まえた実装が不可欠である。特に中小規模病院ではリソースの制約があり、実践的なノウハウの共有が重要な課題となっている。こうした背景から 2024 年度に「全国病院情報活用事例研究会」を発足し、多職種による全国的なネットワークの中で、実用的な病院情報活用事例の収集・育成・共有を通じた知見の普及と学び合いの場の形成を目指している。

研究方法・研究目的

本研究会では、病院マネジメントに携わる実務者を中心に、定期的なオンライン研究会や対面型ワークショップを開催し、地域医療の需給分析、部門横断的な病院 DX の推進、電子健康記録（EHR）やパーソナルヘルスレコード（PHR）の二次活用による新たな医療・社会ニーズの創出といったテーマに取り組む予定である。これらの情報活用は、医療現場における課題の設定、評価、改善に直結する実践的な取り組みとして展開・普及させていくことを目的としている。

研究期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 現在

認定研究会代表者（氏名・所属・職位）

小原仁・久留米大学医学部医療検査学科・准教授

運営メンバー（氏名・所属・職位）

本野勝己・川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療データサイエンス学科・准教授

久保博文・王子総合病院診療録管理センター・副センター長

研究報告会の実施状況

第 1 回 令和 年 月 日 於

開催

第 2 回 令和 年 月 日 於

開催